

令和3年度自己評価結果公表シート

社会福祉法人 光輪会
なかよしこども園

1. 本園の教育・保育目標

『耐える心と乗り越える力』を培う教育・保育を目標に、心身共に健康で心豊かな園児の育成を目指します。

(1) 挨拶のしっかりできる子ども

挨拶はコミュニケーションの第一歩です。明るく元気に誰にでも挨拶が出来る子どもを育てます。

(2) 人の話をしっかり聞ける子ども

乳児期から絵本の読み聞かせを多く取り入れます。落ち着いた環境の中で、人の話を聞く態度を身に付け、自分で表現する力を育てます。

(3) 元気になかよく遊べる子ども

散歩や戸外遊びを通し、四季折々の自然に触れのびのびとした環境の中で、遊びを見つける力、遊びを生み出し発展させていける力、無から有を生み出す力を育てます。

(4) 根気強くやり通せる子ども

子どもの可能性を信じ、色々な事に取り組み小さな頑張りを褒め、最後までやり通す意欲を育てます。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

新型コロナウイルス感染症の対策を、ガイドライン等を確認しながらしながら、行い活動を止めるのではなく、今できる活動を考え開催をしていく。WEBなども使いながら情報の収集をしっかり行い、正しい判断ができるように情報に左右されないように活動を行っていく。

3. 評価項目の達成及び取組状況

| 評価項目 | 取組状況 |
|---------------------|--|
| ① 教育・保育理念・方針の明文化と周知 | 集まることが困難な状況であったが、行事等もクラス単位で短い時間で行い、その中で周知していった。 |
| ② 認定こども園教育・保育要領への対応 | コロナ感染症がオミクロン株によって子どもへの感染が拡大したことにより、主体性保育を追及していくことよりも、感染を増やさない配慮に切り替えた。 |
| ③ 職員の資質・保育の質の向上 | 園内研修で一堂に参集できない事から、個別で「コロナ禍でも出来る主体性保育」と課題を出し研修して頂いた。 |
| ④ 保幼小中の連携 | 学校訪問や学校見学等は全て中止となった。学童の子ども達と接する機会が多い光輪会では、小学生との触れ合いも多く活動も身近で感じられるため、子どもたち同士による成長の見通しは立ちやすいのではないかと感じている。小学校との連携も情報交換を密にしできる活動を今後も進めて参りたい。 |
| ⑤ 防災・防犯意識の向上 | 毎月避難消火訓練を行うことや、防犯訓練を行い、緊急時の対応を訓練していく。 |

| | |
|---------------|--|
| ⑥ 保育指導内容検討委員会 | 当法人の保育指導内容を客観的に検討する、委員会を立ち上げ、子どもの主体性を育む指導内容の向上と、資質の向上を図るとともに、言葉がけに関する意識を高めていく。 |
|---------------|--|

4. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今年度は新型コロナウイルス感染症に非常に影響を受けてしまった1年であった。未知の見えないウイルスに対してどのように対応していけばよいか悪戦苦闘の日々であった。収まりそうになると感染が拡大しての連続で子どもの影響や職員の健康管理にも徹底をしていくことによって行事の縮小や、中止を余儀なくされてしまった。今後も新たなコロナウイルスの変異型などが蔓延してく事ともささやかれている。十分注意して先ずはないよりも「子どもの登園の保証と保護者の就労の保証のために」何が一番大切かを考え活動して参りたい。

5. 今後取り組むべき課題

| 課題 | 具体的な取り組み方法 |
|--------------|--|
| 職員のより一層の資質向上 | 職員の資質向上、子育て支援の専門職としてキャリアアップ研修に ZOOM して受講し資格の習得をしていく。 |
| 教育・保育計画の編成 | 3施設の保育課程をさらに発展させ、光輪会の全体的な計画を検討し、新しく作成しなおしてまいりたい。 |
| 教育・保育内容 | 0, 1, 2歳児は引き続き、信頼関係を深める安心感、愛着形成を満たす保育を充実させ生きる力の土台作りを行っていく。幼児に関しては縦割り保育、アクティブラーニングの実践も浸透してきている。 コロナ感染症に関してもまだまだ予断を許さない状態の為情報をしっかり把握していくことに勤める。 |

6. 評価項目の光輪会関係者評価

| 評価項目 | 評価 |
|------|--|
| 3-① | 世の中がコロナ一色となり感染症拡大が続いた1年であったが、本当に職員の皆さんはよく頑張っていたと感じている。安全管理も厳しい中で毎日ご尽力されていることが本当によく分かります。 |
| 3-② | こんなコロナ禍なので行事等ができないのは安全管理のためにも仕方のないことであると思う、願わくば子ども達の活動の機会がもっと増えていっていただけることを願っています。 |
| 3-③ | 研修等が ZOOM で開催されているという事で、多くの方が研修に参加できるのではないかと期待している。園長から対面の必要性も聞いたが、何より健康に気を付け毎日をしっかりと乗り切っていっていただきたい。 |

| | |
|-----|--|
| 3-④ | 地域連携や小中学校との連携は必ず必要となって切ることなので、行えるようになったら光輪会の活動をまたしっかり行っていただきたい。制限のある中で工夫し行って頂いていることは十分伝わっています。 |
| 3-⑤ | 安全点検や避難消火訓練など計画的にきちんと進めているようで、記録もきちんとしていて安心である。一般の方も入ってくる（支援センターに）ので、園内の管理が本当に大変であると思うが、昨今園内に侵入してくるケースなどもあるので十分対策をとっていただきたい。 |
| 3-⑥ | 色々な保護者の方がいる中で本当に大変であると思います。不適切保育の研修を毎年行っていくという事なので、皆さんに喜んでいただける園になるように頑張ってください。 |

7、光輪会関係者の評価総評

理事・監事・評議員の皆様にご光輪会の活動を、資料や写真等を使い活動の方法や内容等をお話ししご意見を頂いた。

コロナ禍でほとんどの行事を自粛していったが、オミクロン株になってからの子ども達への感染拡大は非常に強く、感染者が1人でも出てしまいクラスターが起こってしまい園を開園できなくなってしまう現状をお話した。

工夫されて行っていることがよく分かったというご意見や、職員の皆さんの健康を気遣い戴き、光輪会の活動に関してご理解を頂いた。光輪会もこんなに事業が大きくなっていくと、困難なことや答えの出ないことも多くなってくると思う。しかし多くの方が感謝の言葉を伝えてくれるこの光輪会の良いところをもっと伸ばしていき、地域の支援を続けて行っていただきたい、とのご意見を頂いた。

8、財務状況

別紙光輪会、資金収支計算書・事業活動計算書・貸借対照表 参照

和光市に開設予定の認定こども園建築・開園運営資金の残を2施設に繰り入れた事と、1年目を終えた和光なかよしこども園に繰入金を入れて調整したことを説明した。